

## 要請番号 (JL56017B18)

募集終了



| 国名  | 職種コード 職種       | 年齢制限 | 活動形態 | 区分        | 派遣期間 | 派遣隊次              |
|-----|----------------|------|------|-----------|------|-------------------|
| ベナン | C101 食用作物・稲作栽培 |      | 個別   | 交替<br>2代目 | 2年   | ・ 2018/1 ・ 2018/2 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名（日本語）

農業・畜産・漁業省

## 2) 配属機関名（日本語）

ジャコトメ村落開発支所

## 3) 任地（クッフォ県ジャコトメ市） JICA事務所の所在地（コトヌー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車 で 約 3.0 時間）

## 4) 配属機関の規模・事業内容

同支所は、モノ・クッフォ県農業促進センターの管轄の下、事業実施機関として市レベル毎に設置されている。地域の農・畜・漁業の農民を対象に、農業技術普及・指導、研修(農薬・肥料等を使用した栽培技術の普及等)、肥料・種子の販売等を行っている。同支所の年間予算は約8百万円。同任地で社会福祉分野の家政・生活改善JV(青年海外協力隊)1名が活動中。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

同国でのコメ自給率は47%であり、年々消費量が増加し、不足分は輸入に依存している。同国は米や農作物の安定供給と貧困削減への貢献を目指し、農業セクターへの取組みを強化し重要課題に掲げている。また、CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)のコメ生産拡大に向けた取組を強化している。同支所は、農業・牧畜・漁業省の政策実施機関として、農民に対する技術指導を行うべく農業普及員が配置されているが、予算不足、農業普及員の知識不足や農民の運営能力の低さにより、期待されている農民への技術指導は十分に行われていない。前支所長の本邦研修参加をきっかけに、米の増産・生産性向上に向けた技術指導、ネリカ米の紹介・普及への支援に対して要望があり初代JVを派遣し、その後継として本要請がなされた。

## 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

農業普及員と連携し、以下の活動を行う。

1. 農民との関係構築、情報収集、問題点の把握
2. 稲作の普及、技術指導、助言
3. 収入向上に向けたアイデア、改善策の提案

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務所内執務席。農民はセンバコギなど旧式で手作りの簡易器具を使用している。

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

支所長(男性・30代)

農業普及員(男・女性、20-40代) 20名

活動対象者:支所長、農業普及員、農民

## 5) 活動使用言語

フランス語

## 6) 生活使用言語

その他

## 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験） 備考：農民との実践活動のため

[参考情報]：

- ・稲作(栽培)に関する知識と経験

### 任地での乗物利用の必要性

自転車

### 【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

### 【特記事項】

活動上の交通手段は自転車のみに限られるため、その範囲で活動を行う。